

開明PTA新聞

【第42号】

開明中学校・高等学校
電話/06-6932-4461

発行責任者

PTA広報委員会

3月1日月曜日 直田中様先生

卒業おめでとう祝

3年A組担任
柳井光一



「開明」で過ごした意味は何だろう。
たくましく成長する姿を、ずっと見てきた。たくましく、というのは、失敗しないことではない。困難に立ち向かう意志だ。人の弱さに寄り添う心だ。「開明」で学んだことは、あなたにとって必ず意味がある。それを覚えておいてほしい。
世界は一冊の本。ひとり人間も一冊の本。その主人公はあなた。豊かな言葉で織りなされた素敵な物語を聞かせてください。いつか、また。万感の思いをこめて。卒業おめでとう。

3年B組担任
水上 誠



フランス実存主義の哲学者であるジャン=ポール・サルトルは、「実存は本質に先立つ」という言葉で、人間はみずからつくること以外の何ものでもない、としています。
皆さんが今後、自分自身をどんな人間にするのか、それはこれからそれぞれの道を歩み中で形作られていくことでしよう。
常に向上心をもって歩んでいってください。卒業おめでとう。

3年C組担任
田中 穂



卒業おめでとう。この6年間/3年間で、君たちは学力のみではなく、1人の人間としても見違えるような成長をしました。自信を持って巣立ってください。
未来へ羽ばたいていく君たちに、1つお願いがあります。「学びたいと思う心」すなわち知的好奇心をいつまでも失わないでください。受験が終わったら、就職活動が終わったら、学びが終わるわけではありません。人生の最後まで知的好奇心を持ち続けてください。君たちの今後の学びに期待します。

3年D組担任
中野直也



開明高等学校106期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。皆さんが無事に卒業できることを、何よりもまず嬉しく思います。本当にいろいろなことがありました。大変革、非常事態、非日常、新常态。大変なことがたくさんありましたが、誰も経験したことのないようなこの経験を前向きに捉え、自らの糧として進んでほしいと思っています。皆さんが真価を発揮するのはこれからです。

3年A組副担任
辻川 誠



もうすぐ今日が終わる
やり残したことはないかい
親友と語り合ったかい
燃えるような恋をしたかい
一生忘れられない出来事に
出合えたかい
かけがえのない時間を胸に刻み込んだかい
「オワリはじまり」 かりゆし58より

3年B組副担任
徳山 敦則



卒業おめでとうございます。
新たな価値観が必要な新しい時代の始まりです。
ピンチはチャンス!
ビビらないで、新しい時代の先頭に立ち邁進してください。健闘を祈る。

3年C組副担任
濱野 恵美



自分の信じている想い、使っている言葉が自分の現実の世界となります。この世の中には美しいものが沢山あります。それを見逃さず、良い言葉、明るい想いで、一度かぎりの人生を美しく豊かなものとしてください。

3年D組副担任
海原直之



高3生の皆さん
卒業おめでとうございます。
新しい門出を迎え、期待に胸を大きく膨らませていることでしょう。大学に進学したら、多くの新しいことにチャレンジし、様々な経験をして下さい。それが今後の人生の糧となります。前へ進め!

3年E組担任
伊藤 さつき



卒業、おめでとうございませう。今までの守られた場所から、あらゆることを自分の責任の下で選択する新しい環境へ向かっていく皆さん。
人生における多くの事は「できるか、できないか」ではなく「やるか、やらないか」で決まるものだと思います。どれだけやる必要があるのかには個人差があるとしても、皆さんが様々なことに挑戦し、新しい自分に出会い続けていくことを願っています。

3年F組担任
中村 祥久



Experience a breakthrough!
卒業おめでとう! 1862年、ベルギーの化学工業家のソルベーは、それまで不可能とされていた炭酸ナトリウムの大量製造に成功しました。一段階では不可能な反応を、五段階組み合わせたことによって、みごとに可能にしたのです。科学技術が発展した現在でも、まだまだ分からないことがたくさんあります。皆さんも大学に進学したら、それぞれの分野で世の中の不可能なことを可能に(breakthrough)して下さい。

3年G組担任
古塚 郁夫



「笑門来福」ご卒業、おめでとうございます。「高校卒業」という関門を乗り越えられたのは、君達自身の力もありますが、保護者をはじめとする周囲の支えがあったからです。改めて感謝の気持ちを伝えましょう。人生、いつも順風が吹くとは限りません。夢がかなっても、そうでなくとも、「笑門には福来たる」です。笑顔には、福を呼び込む力があると私は信じています。落ち込むことがあっても、前を向いて笑顔で進んでいきましょう。

3年D組副担任
川崎 徹雄



卒業おめでとうございませう。これから様々なチャンスがあなたを訪れて来ます。卒業後の広い意味での勉強は、その機会を掴むための準備です。前へ進もう!

3年E組副担任
丹羽 務



卒業後は学力偏差値が通用しない領域です。アイデンティティになりえるのは、君たちの人間力偏差値です。人間としてのグレードアップを期待しています。頑張ってください。

3年F組副担任
川田 正美



ご卒業おめでとうございませう。これからは、開明で学んだことを糧に、いろんなことに積極的に挑戦して行ってください。皆さんの挑戦を陰ながら応援しています。

3年G組副担任
村田 幸一



卒業おめでとうございませう。これからは、開明で学んだことを糧に、いろんなことに積極的に挑戦して行ってください。皆さんの挑戦を陰ながら応援しています。

中学卒業に寄せて

中学3年学年主任 川那部 顕

早いもので、皆さんが真新しい制服に身を包み、本校へ入学してから3年が経ちます。この3年間、学習や学校行事、クラブ活動を通して様々な経験を積み、心身ともに大きく成長してくれたことを喜ばしく思います。高校入学後も、何事も前向きに取り組み、そのすべてを

自らの糧として、更なる成長を遂げた姿を見せてくれることを楽しみにしています。最後に、普段は照れくさくて言えないかもしれないけれど、この節目の時に際し、これまで育てて下さった保護者の方々に、きちんと感謝の意を表して下さい。中学校卒業おめでとうございます。



歴史に残る卒業生の皆さんへ

学校長 林 佳孝
大学入試改革による共通テストの1期生、しかも英語民間資格検定の採用や記述式導入の直前でのドタバタ。さらには新型コロナウイルスの感染拡大による長期の臨時休校……。こんな大混乱の中で高3の1年間で過ごした皆さんの世代は、今後の歴史において「語り種」になること間違いなし。長い人生、順風満帆ばかりじゃない。結局は人生で求められるのは他人との勝負。競争では無く、自分自身の弱さに打ち勝つ努力。スポーツに例えるならボクシングではなくゴルフみたいなものか。いつかこの「語り種」が「恨み節」でなく「笑い話」として語れるようになることを願う。何はともあれ卒業おめでとう。

卒業おめでとう

高校教頭補佐 進路指導部長 重康 学
高3生のみならず、卒業おめでとうございます。みなさんが最終学年を迎えた2020年度は、何年も前から学校教育や大学入試が大きく変革するスタートになると言われてきました。ところがこのように誰も予想できなかった年になってしまいました。この間の大学入試を取り巻く環境の変化や社会生活の変容をみなさんはどのように感じているでしょうか。なかなか先を見通すことが難しく、日々様々な情報が身の回りに溢れる時代です。こうした時代だからこそ、みなさんには科学的なものの方や考え方を身につけて豊かな人生を力強く歩んでもらいたいと思います。

専務理事 澤田 明
106期生のみならず、ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんは、2年生の3学期から「新型コロナウイルス」による影響を受けた1年間を過ごしました。自然は、これまでも、人類に様々な試練(病災害...)を与えてきましたが、そのたびに人類は、叡智を出し、乗り越えてきました。人類は、「生ある限り学ぶ」という特質を持ち、文明を築いてきました。また、社会生活する上で「基礎知識・教養」を、意識的に学ぶ場として「学校」を作り出したのです。君達の学んだ日本の学校が、現在の様に男女の区別もなく、みんな平等に学べる様になったのは、わずか70数年前からなのです。

中学教頭 竹森 順一
君たちへの最後の指導
中学1年から高校2年までの5年間担任生活指導部として君たちを指導してきましたが、小学校・中学校を卒業したばかりでまだまだ幼かった君たちが、ここまで立派に成長してくれたことを心から嬉しく思います。
ありきたりですが、今日という日に、君たちをここまで育てて下さった保護者の方々に、照れ臭いですが、「言いたいから」ありがとうと感謝の気持ちを伝えてください。生まれたての赤子を開明高校卒業まで育て上げるといことは、本当に大変なことなのです。
卒業おめでとうございます。君たちの人生に幸多からんことを。

遥かなる学びの旅へ

旅立つ者たちへ

高校教頭 白江 恵三
今まで普通だった生活が大きく変わる。教室や廊下で談笑していた仲間たち。どこにいても振り向くと必ず友がいた。明日からはそういう当たり前の光景がなくなってしまう。卒業とはそういう寂しいものでもある。楽しみや喜びを分かち合い、辛いこと、悲しいことも仲間とともに乗り越えてきた。こういう経験が今の自分を作り上げた。そして、次にはまだ見ぬ素晴らしい世界が待っている。この先、素晴らしい出会いもあり、新たな経験も数多くするだろう。過去から現在を開明で過ごして、そして未来へと旅立とうとしている君たちに、栄光あれ。

PTA会長あいさつ 山田正剛

コロナ禍での活動

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。新しい生活が始まり新しい目標に向かって進む時ですね。長い人生の中で時には辛いことや哀しいことにも直面しますが、逆境にも正面から向き合ってピンチをチャンスにして下さい。志がある限り道は開けると信じています。今年度のPTA活動はコロナ禍での活動となり、緊急事態宣言が出され、春からの活動開始が出来ず、夏になってようやく今年度のPTA活動がスタートとなりました。その後も各委員会行事が例年通り実施できるのか不透明な状況が続きましたが、これまでにない制約の中で、役員委員の皆様のご尽力によりコロナ対策を実施したうえで各PTA行事を進めることができました。今年度PTA活動を通じて貴重な経験を沢山させて頂きました。お世話になった皆様ありがとうございます。一日も早いコロナ禍の収束と本校の益々の発展、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

第106回文化祭を終えて

9月6日(日)コロナ禍の中、感染防止対策として、飲食の禁止、入場制限、保護者のみの来場という大きな変更のもと文化祭が開催されました。安心してご参加頂ける形態への対応という課題も含め準備の段階から右往左往しながら進められました。短い準備期間の中、各委員長を中心に委員の皆さんの惜しみないご協力、最後までやり遂げられた事、保護者の皆様からバザー用品、制服等のご提供を頂き無事に開催出来た事、心から感謝と厚くお礼を申し上げます。

制限がある中でも生徒達が一生懸命に準備し精一杯に文化祭を盛り上げて、互いに協力し合い楽しそうに過ごしている姿に今年のテーマ「BEAT」の通り、生徒たちの鼓動が感じられました。PTAの一員として文化祭に参加出来たことを嬉しく思います。

来年度も開催出来ますように今後ともPTA活動にご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。最後にありがとうございました。PTA副会長 上西賀奈子



高校体育大会

9月16日(水)長居陸上競技場にて高校体育大会が開催されました。天候にも恵まれ、コロナ禍で制約もありましたが、生徒達の表情は活き活きとしていました。定番の個人走やリレーの他に、高校体育大会ならではの名物リレーがあります。クラス対抗で自由に走れるフリーリレーは、勝敗を分ける知恵を絞った作戦が見ものでした。部活対抗リレーは、工夫を凝らしたユーモラスなユニフォームで走る姿に盛り上がりました。青空の下で思い思いに楽しむ姿は微笑ましく、また遅くも感じました。

不安な日々の中、無事に開催することができました。思い切り楽しみ、リフレッシュした気持ちを次の活力へ繋いで欲しいと願います。(広報委員 高校班)



中学体育大会

10月15日(木)、爽やかな風の吹く秋日和の中、清滝グラウンドにて第30回開明中学校体育大会が開催されました。1年生が精一杯に競技に取り組んだり友だちを応援したりする姿は初々しく、2、3年生はリレーでの迫力ある走りや生徒たちから声援が上がり、会場が盛り上がりました。

中学最後の体育大会の3年生。女子合同体操は短い準備期間とは思えない見事な演技を披露。全クラス参加競技の大縄跳びでは90回を超えるチームも出現し流石3年生と思わせてくれる結束力があり、どのクラスも息を合わせて跳躍数を数えて一丸となっていました。今年内容は例年とは大きく違い、マスク・消毒等々気を使う場面も多くありましたが、無事に大会を終えることができました。開催に際しご尽力頂きました先生方に深く感謝しております。(広報委員 中1班)



健康推進講習会

「funnel」からのつながり

9月26日(土)剣道場にて、ウイメンズセンター大阪より鍼灸師のAKEEMI先生をお招きし、「ストレスを癒やすからだほぐし」講習会を行いました。先生の穏やかな雰囲気に参加者を包み込んで、ゆったりとした時間の中、呼吸法、首から太腿にかけてのからだのほぐし方を先生の解説のもと体験しました。ストレスを感じていることを知る方法と対処法、疲れているときに効くツボ、睡眠前の呼吸法など、日々の中で行えるものが多くありました。また、言葉がからだに与える影響についても教えていただき、最後に参加者からのツボについての多くの質問にも答えていただきました。この講習会を通して、「こころ」と「からだ」が相互に作用していることを改めて学ぶ機会となりました。(健康推進委員長 伊藤朝美)



進路対策講演会

10月24日(土)体育館にて、恒例の進路対策講演会を開催しました。

第一部は駿台予備校大阪南校の教務マネージャーである山田一貴氏から大学受験の最新動向や入試戦略を詳しいデータとともにご紹介いただきました。近年は安定志向の高まりにより志望校のレベルを落とす受験生が増え、逆に難関大学を第一志望とする受験生には合格のチャンスが広がっているとのことでした。講演の最後には受験生を持つ保護者としての心得についても触れられ、子どもを受験をいかにサポートするべきか考えさせられる内容でした。

第二部は卒業生と教諭による毎回大好評の合格体験トークセッションです。卒業生のみなさんの話から、生徒と先生方が一体となり、粘り強く合格を勝ち取ってゆく姿が目に見え、心でくくるようでした。そして第一部、第二部に共通するキーワードは「子どもを信じる」でした。子どもたちの悔いのない選択のために、保護者が子どもたちを信じ、見守り、応援し続けることの大切さを改めて知ることができました。ご協力いただいた先生方、卒業生のみなさま、そしてご参加いただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。(進路対策委員長 大倉美穂子)

PTA社会見学

大阪の魅力を見学できた、大阪城天守閣

11月5日(木)、空が澄み渡る秋晴れのなか、今年度のPTA社会見学は大阪城天守閣とリーガロイヤルホテルに行つてまいりました。午前中は大阪城へ。地上55mの天守閣展望台からは東西南北にわたって大阪の景色を一望し、2階から7階の展示室では数々の史料を通してこの巨城の歴史を再認識。おとなの社会見学として有意義な時間を過ごすことができました。ランチはリーガロイヤルホテルへ。美食の数々に、参加者からも「さすが老舗」と感嘆の声が上がりました。今年とは異なり、バス移動なし、現地集合・現地解散という形での実施でしたが、保護者の親睦が深まる貴重な一日となりました。来年度も多くの参加をお待ちしております。(企画委員長 円光寺由紀)



文化教養講演会

12月12日(土)思春期精神科医であり情報番組のコメントーターとしても活躍中の名越康文氏に「思春期の子を持つ親たちへコロナ世代の子育て」というテーマで講演していただきました。

保護者から事前に頂いた質問を元に対談形式で、思春期の子どもの接し方やコロナとの付き合い方についてお話していただきました。

ご自身の経験談として、思春期のご子息にスマホとの向き合い方などで注意を促したときは、親の気持ちを押し付けず「敬語」を使つて話をすると反発せずに本人が自分でルールを決めるようになった、というような「子どもに敬語で注意する」というように実践できそうな話もありました。

たくさんの方に「参加いただき、「コロナで疲弊していた気持ちが楽になった」「思春期の子どもの過干渉になりすぎず、うまく見守っていきなさい」といった感想をいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。(文化教養委員長 青木咲子)

皆様のおかげで、無事42号を発行することができました。お忙しい中、原稿依頼に快くご協力いただきました先生方、関係者各位に心よりお礼申し上げます。広報委員として学校行事に携わりながら、1年間楽しく活動することができました。来年度もよろしくお祈りいたします。広報委員会一同

編集後記



開明会は卒業生保護者として卒業生が活動する行事(開明大学・成人会、文化祭、受験生激励年越しそば等)の後ろだてとなり、その活動を通して在学中からのご縁を繋いでおります。